

日数・回数処方する外用薬と 全量処方する外用薬の区別

処方の区別	考え方	具体例
日数処方 回数処方 する外用薬	外用薬のうち ①1個ずつ、1枚ずつの管理が可能で、かつ ②1日又は1回の使用量を指定することで個数・枚数を管理できるもの	1. 坐薬(アンヒバ坐剤等) 2. 注入軟膏(ボラザG軟膏等) 3. 腔錠・腔坐剤(フラジール腔錠等) 4. 浣腸薬(ケンエーG浣腸液等) 5. 貼付薬の一部 ←薬品名の末尾に(日数)と表記しています (フランドルテープ、ツロブテロールテープ、フェントステープ等) 6. 注腸薬 (レクタブル注腸フォームを除く) 7. うがい薬のうちハチアズレ含嗽用のみ ←薬品名の後ろに(日・回数)と表記しています。
全量処方 する外用薬	上記以外の外用薬 1個の容器に入っていて、複数回使用する外用薬、分けて使用する外用薬は全量処方とします。	1. 点眼薬 2. 眼軟膏 3. 点耳薬 4. 点鼻薬 5. 塗布薬(軟膏等) 6. 散布薬 7. 消毒薬 8. 噴霧薬 9. 吸入薬(個数管理できる薬も全量処方) 10. 貼付薬の一部 ←薬品名の末尾に(全量)と表記しています (湿布薬全般) 11. 注腸薬のうち「レクタブル注腸フォーム」のみ 12. うがい薬(ハチアズレ以外)

全量処方と日数・回数処方の表示の違い

全量処方

1	ロキソニンパップ 100mg (7枚入)(全量)	3 袋
	1日1回 1回1枚 部位:腰(1日1枚)	

処方する全量

〇〇日分
〇〇回分
の入力なし

日数処方・回数処方

2	フランドルテープ 40mg(日数) 自動車運転等 禁止	1 枚
	(日数) 日1回 1回1枚 胸・背中・上腕のどこか	7 日分
		【服用開始日:2019/04/09(火)】
3	アンヒバ坐薬 100mg	1 個
	(回数) 発熱時 1回1個	3 回分
		【服用開始日:2019/04/09(火)】

1日量と
使用日数を
入力

1回量と
使用回数を
入力

用法の先頭に (日数)
又は (回数) と表示